

第592号（平成27年8月26日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

今週の事務局からのお知らせはございません。

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 環境省、汚染状況重点調査地域除染の進捗状況（第12回目調査）
2. 下水汚泥焼却灰の南本牧処分場への埋立開始
3. 姫川港・西ふ頭地区の国内物流ターミナル整備事業
4. 武豊火力発電所リプレース計画で環境大臣意見

=====
1. 環境省、汚染状況重点調査地域除染の進捗状況（第12回目調査）

環境省は、放射性物質汚染対処特措法に基づき汚染状況重点調査地域に指定されている岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県及び千葉県下の市町村における除染の進捗状況について、第12回目の調査（平成27年6月末時点の状況）を実施し、その結果を公表した。

対象は福島県以外の汚染状況重点調査地域に指定された60市町村のうち、除染実施計画を未策定の2市を除く58市町村。なお、福島県内の市町村における除染の実施状況については、福島県が調査を実施し、公表している。

【港湾空港タイムス】

.....
2. 下水汚泥焼却灰の南本牧処分場への埋立開始

横浜市環境創造局は、下水汚泥焼却灰の南本牧処分場への埋立てを7月から開始している。2～3月に実施した試験埋立と同様、ごみ焼却灰との混合灰にして処分している。

下水汚泥焼却灰は汚泥資源化センターで保管しているが、放射性物質濃度が100ベクレル未満になるよう、同センターでごみ焼却灰と混合したうえ、蓋のついたダンプで南本牧処分場へ搬入。1日あたりダンプ10台に相当する13～15トンを平日に運搬している。

今回の埋立の対象は汚泥処理センターに保管している3万7800tのうち26年4月以降に発生した5200t。同年3月以前の濃度の高い焼却灰の処分方法は未定。

現在、日々発生する焼却灰は改良土や建設資材として活用している。

【港湾空港タイムス】

.....
3. 姫川港・西ふ頭地区の国内物流ターミナル整備事業

新潟県は姫川港・西ふ頭地区の国内物流ターミナル整備事業で、水深10m岸壁と泊地浚渫を進めている。また、今後の整備が見込まれる東ふ頭地区の第2船だまりは、今年度に

事業評価を予定している。

西ふ頭地区では取扱貨物量の増加や船舶大型化に対応するため、国内物流ターミナル整備事業を進めている。整備する施設は水深 10m岸壁延長 170mの西ふ頭3号岸壁と泊地、泊地護岸。

浚渫は 25 年度から本格的に進めており、今年度は 7月に工事発注した。工事概要は浚渫工 2万2000立方m、残土処理工 2万1700立方m。

浚渫の全体土量は約 40 万立方m。残りの土量は今年度分を含め約 25 万立方m。浚渫土砂のうち半分程度の土砂は姫川港から 7km 東の漁港海岸へ運び、残り半分も公共事業で活用する。

【港湾空港タイムス】

4. 武豊火力発電所リプレース計画で環境大臣意見

環境省は 8月14日、中部電力が計画している「武豊火力発電所リプレース計画 計画段階環境配慮書」に対する環境大臣意見を経済産業大臣に提出した。

同事業は、武豊火力発電所の重油・原油を燃料とする 2～4号機を廃止し、石炭を燃料とする 5号機（107万kW）にリプレースするもの。

環境大臣意見では、「日本の約束草案」及びエネルギーミックスの達成に支障を及ぼしかねない。このため、本事業の計画内容について、国の目標・計画との整合性を判断できず、現段階において、是認することはできないため、早急に具体的な仕組みやルールづくり等が必要不可欠」としている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司	新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣	五洋建設（株）
木村 竜也	東京都
梅木 重光	（株）酒田港リサイクル産業センター
紫牟田 和隆	光和精鉱（株）
新谷 聡	りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####